

堂に見現化す水な打水は、新聞6月14日の中山で
 きた。4年生会同せきにおいて全堂一致で決議で
 水たごとく、ストライキをもつて牛の置き、よつて
 鑑ての被害、試験を不イコソトするものである。
 更に堂學反に現案したものは、後重料不払い牛争
 で、古田に徹底的な打撃を与えよう。

最後に、ボク中山せき生は、古田体制を打倒し、
 五大スローガンとせきの要求項目を具現化する全堂
 共斗会議を断固支持する。そしてボク中山せき生
 は、たこえい月11日の、9月4日の暴力が再度、
 打せいかかろうとせき、偉大なる日大牛争の最も先
 頭的部隊として牛争を表明する。

要望

法學部牛争委員会は各牛争委員会は、再度自
 主講座を再開し、9月4日以果閉ざ水てしまつた
 學問の場を、作つてほしい。

報告

9月13日中山せき生でカンパをした結果的所集
 りました。法牛争財政にまわれしました。

11月14日

会 日 大 生 議 さ ん へ	会 日 大 生 議 さ ん へ
会ま治お席 買時政てま 委9はして 争ら奪行、 牛か肉賣る ル時、てふ ナーアすに機 ミ後ま望同 ゼキリ舟庄 貸のみの調 買日て者ま 委既り席自 争不開出の 牛と志写委 部日左附牛 學既議買法 法月主律、 連、自法す 私は、清ま てで送り、	日の大ニ会 毎為日論買 の、討委安 す利可判争 で勝ま社牛香 会争り家ル32 買牛お花一館 委大て、ナ替 争日いしミウ 牛、用集(ゼ法 のら五結 生か議は ミ持会生 へせり附ミ んう情附ゼ さ牛午、う、 皆は(会牛十 生連陳慶ま ミ私証論争并 ぞ(月討牛望